

奄美海上保安部便り

令和元年度始動



奄美海上保安部長訓示

平成31年4月の着任にあたり、新奄美海上保安部長(江藤 隆志)から職員に対し訓示がありました。訓示の内容は、そのまま保安部の重点目標となっています。

【基本方針】 “地域の期待と信頼に応える奄美海上保安部”

- 【重点事項】
- ・ 安心・安全への取り組み
 - ・ 良好な職場基盤の構築

令和の夜明け 5月1日 天皇陛下ご即位を祝い満船飾



巡視船あまぎ



名瀬港東防波堤灯台



巡視船かいもん

5月1日(水)、天皇陛下のご即位を記念し、停泊中の巡視船への満船飾や、灯台への万国旗装飾を実施しました。

あまみエフエムへの出演!



奄美市を中心に放送するコミュニティFM局。呼出符号は「あまみエフエム」、愛称は「ディ!ウェイヴ」。周波数77.7MHz、出力20W

4月4日(木)奄美市を中心に放送するコミュニティFM局“あまみエフエム”に管理課職員が生出演し、「海上保安官募集」と「海の事故防止」について周知を行いました。

ハブ咬傷予防講習会



5月10日(金)名瀬保健所担当者を講師に招いてハブ咬傷予防講習会を開催しました。

講習会では、DVDによるハブの生態、安全対策及び吸出器の取り扱い方法を学んだ後、実物のハブを使用して遭遇したときの対処法を学びました。

巡視船「あまぎ」慣熟訓練



安全運航推進会議



曳航部署訓練



潜水訓練



保安部長による安全運航体制確認



潜水資器材の説明

巡視船「かいもん」慣熟訓練



津波避難訓練



防火防水部署訓練



日常制圧訓練



制圧訓練及び刺又・盾の取扱訓練



曳航訓練部署

4月新体制となった海上保安部では、各種訓練に鋭意取り組み、取扱いの慣熟、乗組員間の連携強化を図りました。また、保安部長による安全運航体制の確認を実施しました。

春季大型連休安全推進活動



奄美市を中心に放送するコミュニティFM局。呼出符号は「あまみエフエム」、愛称は「ディ!ウェイヴ」。周波数77.7MHz、出力20W



奄美警察署と合同で海浜パトロール



キャンプ場のパトロール



釣り人に対する安全指導

ゴールデンウィーク期間中の安全推進活動周知のため、4月25日にあまみFM（ゆふいニングアワー）に出演し、「ライフジャケットの着用」、「複数行動」、「連絡手段確保」などの事故防止を呼びかけました。

また、奄美警察署と連携して奄美市内の海浜パトロールを合同で実施しました。合同パトロールでは、離岸流及びブスノーケリング等の遊泳時の注意事項、釣り人に対しライフジャケット着用のお願いと立入禁止場所での釣りをしないよう指導しました。

（あやまる海岸、土盛海岸、用安海岸、大浜海浜公園、名瀬港）

フェリーターミナル及び船内警戒



ゴールデンウィーク期間中、フェリーターミナル及び入港中のフェリー（鹿児島～沖縄航路の上下便とも）船内の警戒を実施しました。

職場体験学習

保安官の“働く”の意は、
人のために活動をする！



5月29日 奄美市立名瀬中学校3年生4名が職場体験学習を実施しました。海上保安業務説明、船内見学、救難業務訓練及び鑑識業務などの体験を行いました。職業意識とは、自分の職業に対する考えや自覚。体験学習での指導は、自身を省み、海上保安官としてあるべき姿に到達できているのか、自覚する機会でもあります。

屋久島大雨災害対応



支援物資、給水支援



支援物資、資機材搬送

5月18日 種子島・屋久島地方に大雨(土砂災害)警報が発令され、屋久島で登山者314名が孤立する事案が発生しました。

第十管区海上保安本部では、直ちに「屋久島大雨災害対策本部」を立ち上げ、鹿児島県災害対策本部及び屋久島町役場へ人員を派遣するとともに、巡視船を派遣し支援にあたりました。

巡視船4隻により人員搬送、資機材、非常用食料の搬送、給水支援等を実施しました。

奄美海上保安部所属の巡視船「あまぎ」は陸上自衛隊員、九州運輸局、県警、役場等職員の人員輸送を実施する任務にあたりました。

孤立者全員が救出、下山し、人員輸送や給水支援、流木対応等が終了した5月21日午前10時30分、第十管区災害対策本部は解散しました。

【投入勢力】 巡視船艇 延べ15隻、航空機 延べ7基、機動救難士 延べ20名

【対応状況】

- ・人員輸送 陸上自衛隊員、九州運輸局、鹿児島地方気象台、県警機動隊、役場等職員 78名
- ・物資輸送 資機材、非常用食料、保存水等輸送、給水支援
- ・漂流物対応 漂流小型船舶、流木等

沖永良部島急患輸送



患者引き取り状況

4月29日午前10時45分、沖永良部徳洲会病院から鹿児島県危機管理防災課を通じて第十管区海上保安本部運用司令センターあて、『心筋梗塞の疑いがある男性の搬送をお願いします』との要請を受けました。

奄美海上保安部では、巡視船「かいもん」を沖永良部島に急行させ、伊延港にて患者を救急車から引き取り、同日午後4時30分、名瀬港に入港し、患者を救急車へ引き継ぎ、奄美市内の県立大島病院へ搬送されました。

与論島急患輸送



5月31日午後18時10分頃、与論徳洲会病院から沖永良部与論地区広域事務組合を通じて奄美海上保安部あて、『吐血、上部消化管出血で治療中の男性患者が意識消失し、至急島外専門医院での治療が必要である。ドクターヘリ等が天候不良で対応できないので、巡視船での搬送をお願いします』との要請を受けました。

奄美海上保安部では、巡視船「かいもん」を与論島に急行させ、茶花港にて患者を引き取り、6月1日午前1時00分、那覇港に入港し、患者を救急車へ引き継ぎ、南部徳洲会病院へ搬送されました。

海難対応

奄美市笠利埼東方沖入港遅延船



5月19日午後3時頃、事故者家族から漁協を通じ奄美海上保安部へ『午前8時頃大笠利漁港を出港した漁船が、帰港予定の午後2時になっても帰ってこない』との通報があり、巡視船、航空機、地元漁協所属漁船により捜索にあたりました。

該船は、19日午前8時頃、漁船1隻が大笠利漁港を出港、奄美大島北東海域向け航行中の午前10時頃右舷船尾から大きな波を受けて転覆。

乗組員2名は救命胴衣を着用しており、海中に投げ出された後、船体にしがみつき約24時間漂流した翌20日午前10頃、地元漁協に所属する漁船に発見、無事救助されました。

当時は奄美海域に波浪注意報が発令中でした。

奄美市根瀬部沖で遊泳者が行方不明



1名救助



巡視船、航空機、潜水土、民間ダイバー等による捜索



5月21日午後2時37分、目撃者から第十管区海上保安本部運用司令センターあて、『奄美市根瀬部沖のリーフに居た二人のうち一人の姿が見えなくなった』との通報を受けました。

奄美海上保安部は陸行班が急行し、1名を救助し病院へ搬送されましたが命に別状ありませんでした。残る1名を巡視船、航空機、警察、消防、民間ダイバー等により捜索にあっていたところ、翌22日、民間ダイバーが水深13.5mの海底に沈んでいる行方不明者を発見、当部潜水土により引き上げ、消防救急隊へ引継ぎましたが、搬送先の病院で死亡が確認されました。

当時は奄美海域に波浪注意報が発令中でした。

～未来に残そう青い海～

龍北中学生と海岸清掃



5月23日(木)、龍郷町立龍北中学校が主催する「奄美の環境リサーチきよら活動」に参加し、嘉渡海岸の清掃及び漂着ゴミ調査を通じて海洋環境保全思想の普及活動を実施しました。

円小学生と海岸清掃



6月12日(水)、龍郷町立円小学校の児童及び教職員19名と円海岸の清掃を実施しました。海岸清掃及び漂着ゴミ調査を通じて海洋環境保全思想の普及活動を実施しました。

美しい奄美で生活する子供達が、漂着ゴミ等について問題意識を持ち、将来、青い海を守る志を抱く若者が現れることを期待しています。

奄美群島地区漁船海難防止強調運動

**奄美群島地区
漁船海難防止強調運動**

実施期間 令和元年 6月1日～6月30日

私達は、
無事の帰港を
願っています！

海の事故(ゼロ)を目指して!!
海の安全推進活動実施中
海上保安庁 海の安全推進チーム
奄美群島地区海上保安部 奄美支部
奄美群島地区海上保安部 古仁屋支部

令和元年 7/1 >> 12/31 **漁船セーフティラリー**
●常時見張りの徹底を! ●常時ライフジャケットの着用!

奄美海上保安部・古仁屋海上保安署
備後 (公財) 海上保安協会奄美支部・(公財) 海上保安協会奄美支部古仁屋支部



漁協総会での海難防止講習会



漁協婦人部との海難防止座談会



奄美群島においては、夏場に漁船海難が多発する傾向にあることから、6月を「奄美群島地区漁船海難防止強調運動」期間として漁船海難ゼロを目指して取り組んでいます。

- ・奄美群島漁船海難防止強調運動期間 (6月1日～6月30日)
- ・漁船セーフティラリー (7月1日～12月31日)

台風海難防止強調運動

**来るぞ台風!
備えはよいか?!**

1 大型船は安全な海域へ早期避難
2 小型船舶は 陸揚げ・留揚
3 港内滞泊の場合は係留強化



あまみFMで注意喚起



台風津波対策委員会で部長挨拶

台風対策は早めの備えが重要です!
作業中はライフジャケットを着用して自身の安全も守りましょう!

台風海難防止強調運動

南九州海難防止強調運動推進連絡会議



建設業安全大会での注意喚起



台風津波対策委員会を開催

本格的な台風シーズンを迎える前の6月12日に、関係機関18団体が出席して「名瀬港台風・津波対策委員会」を開催し、避難基準等の確認をしました。

今年も6月21日～30日の間を「台風海難防止強調運動」期間として、海事関係者の台風に対する認識を高めるとともに、海難防止思想の普及に努めました。

関係者の皆様、台風情報を継続的に収集し、避泊、係留強化等早期対応をお願いします!

マリンレジャーシーズンを前に 海上安全教室を開催



ライフジャケットでの浮力体験



離岸流など遊泳時の注意点説明



先生も心肺蘇生に挑戦



背浮きできたよ！

ペットボトルでの浮力体験

奄美海上保安部では、若年層の水難事故ゼロを目指して、毎年マリンレジャーシーズンの本番を控えた時期に、小中学校の児童・生徒、教職員及び保護者を対象とした海上安全教室を実施しています。

今年も4月27日の赤木名小学校を皮切りに多くの海上安全教室を実施しています。

海浜事故の未然防止を目的としており、海で遊ぶ際の注意事項、離岸流の対応手段、危険な海洋生物、ペットボトルを使用した浮力確保等について説明、指導を行っています。

海の事件・事故は118番



奄美海上保安部

〒894-0034 鹿児島県奄美市名瀬入舟町22番1号

TEL・FAX 0997-52-5811